

**Q3：学級活動の内容の（2）で育てる力はどのようなものか。**

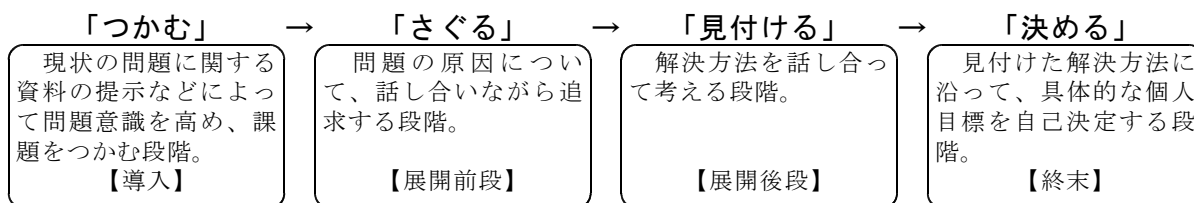
A：学級活動の内容の（1）では、「集団討議による集団目標の集団決定」を通して、児童生徒の「自治的能力」を育てる。これに対して、学級活動の内容の（2）では、「集団思考を生かした個人目標の自己決定」を通して、児童生徒の「自己指導能力」を育てる。

ここでいう「自己指導能力」とは、「自分から進んで学び、自分で自分を指導していく力」や、「自分から問題を発見し、自分で解決しようとする力」であり、指導においては、児童生徒が主体的に取り組めるような配慮を行うことで、自発性や自主性、自律性が育まれるようにすることが望まれる。

以下に、授業展開と題材設定についてのポイントを示す。

**1 授業展開について**

**<授業展開の基本形>**



**<授業の展開例>**

小学校3学年「すてきな言葉」の例  
(ウ 望ましい人間関係の形成)

**問題意識をもつ**

	児童の活動	指導上の留意点	資料	目指す児童の姿と評価方法
<b>つかむ</b> ↓ <b>さぐる</b> ↓ <b>見付ける</b> ↓ <b>決める</b> ↓	<b>導入</b> 1 アンケートを基に、クラスには気持ちのよい言葉がたくさんあることを知る。 2 気持ちのよい言葉がある反面、嫌な言葉もあることに気付く。	・気持ちのよい言葉がたくさんあり、その言葉でクラスの雰囲気や人間関係がよくなっていることに気付くようにする。 ・言われて嫌な言葉もあることに気付く。	アンケート	例えば、導入では、グラフ、アンケート調査や実態調査結果、映像など、展開では、科学的な資料、実物、道具、写真、動画などの活用が考えられる。  <b>【思考・判断・実践】</b> ・友達の意見を参考にしながら、言葉遣いについて考え、 <u>どのように生活に生かしていきたいか具体的なめあてを</u> 考え、進んで実践している。 (頑張りカード・観察)
	<b>展開</b> 3 なぜ嫌な言葉を使ってしまうのか原因を考える。 4 みんなで話し合い、どんな言葉が気持ちがいかが考える。	・嫌な言葉を言ってしまう原因をさぐる。  ・様々な解決方法が出し合えるようにする。		
<b>終末</b> 5 自分の課題に合った「努力すべきこと」を決める。 6 互いに自分の努力することを発表し合う。	・自分自身の課題を確認できるようにし、何をどのように努力したらよいかを考えて、より具体的な自己決定ができるようにする。 ・互いの頑張りについて、励まし合えるようにする。	頑張りカード		

**決まったことを実行する**

**2 題材設定について**

児童が社会生活を営む上で必要な考え方や行動の仕方を身に付ける題材を設定する。基本的には学習指導要領の学級活動（2）の共通事項に示されている題材（小：ア～キ／中：ア～ケ）を設定する。それ以外の課題も取り上げられるが、生活指導上の問題は日々の生活の中で適宜指導する。

## < 共通事項の題材と展開例（小学校） >

### ア 希望や目標をもって生きる態度の形成

題材「自分で学ぶ自主学習」【高学年】			
つかむ	さぐる	見付ける	決める
「家で宿題以外にしている学習」アンケート結果から課題をつかむ。	家庭で自主学習ができていなかったり、できにくかったりする原因をさぐる。	自主学習への見通しがもてるように、問題の原因を解決するための多様な方法を見付ける。	みんなで考えた解決方法の中から、自分の課題に合った方法を選び、目標を決める。

### イ 基本的な生活習慣の形成

題材「気持ちのよいあいさつ」【低学年】			
つかむ	さぐる	見付ける	決める
校長先生へのインタビューや児童へのアンケート結果により、あいさつにおける課題をつかむ。	あいさつしにくい理由を小グループで出し合い、原因を整理する。	解決方法を段階的に見付けられるように教師が情報提供する。	自分に合うめあてを個々に決め、毎日の振り返り方を全体で決める。

### エ 清掃などの当番活動等の役割と働くことの意義の理解

題材「当番の仕事」【中学年】			
つかむ	さぐる	見付ける	決める
掃除など学級生活における当番の仕事に対する取組状況を捉え、共通の問題をつかむ。	忘れてたり、面倒になったりする原因を、みんなで話し合っさぐる。	みんなの生活に貢献することの喜びを教師や高学年の言葉として伝え、解決方法を見付ける。	見付けた解決方法の中から、自分に合った方法を選び、個人目標を決める。

### オ 学校図書館の利用

題材「本のかりかた、かえしかた」【低学年】			
つかむ	さぐる	見付ける	決める
整頓されている本棚とそうでない本棚の写真を比べ、課題をつかむ。	本棚が乱れてしまう理由について、みんなで意見を出し合い、原因をさぐる。	みんなが利用しやすい学校図書館にするための方法を見付ける。	日頃の図書室の利用の仕方について自分の生活を振り返り、個人目標を決める。

### カ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

題材「命を守る行動」【高学年】			
つかむ	さぐる	見付ける	決める
避難訓練の反省点を考え、避難時に必要なことを知った上で、課題をつかむ。	課題の原因をさぐるために、グループで話し合い、クラス全体で交流する。	日頃からの備えについて話し合ったり教師から備えの例を情報提供したりして、解決方法を見付ける。	日頃からの学校生活の改善につながるように、放送を聞く・廊下は歩くなど具体的に決める。

### キ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

題材「バランスのよい食事」【中学年】			
つかむ	さぐる	見付ける	決める
嫌いな食べ物アンケートの結果のグラフを基に、食事における課題をつかむ。	原因を整理し、解決に向けての方向性をはっきりとさせ、改善の必要性を実感する。	苦手なものを食べるための工夫について意見を出し合い、解決方法を見付ける。	みんなの意見を参考にし自分に合った解決方法を選び、自己決定する。

以上のような本時の指導に加え、問題意識を高める事前指導、目標実現への意欲を高める事後指導も充実させ、児童生徒の自己指導能力を着実に育むことが大切である。

#### 【参考資料】

- |                                    |           |
|------------------------------------|-----------|
| ・指導資料「楽しく豊かな学級・学校生活をつくる特別活動(小学校編)」 | H26.6 国研  |
| ・中学校学習指導要領解説特別活動編                  | H20.9 文科省 |
| ・小学校学習指導要領解説特別活動編                  | H20.8 文科省 |